

さとしょう

議会だより

No.125

2026.7.31



岡山県 里庄町議会



かすみ保育園



◀過去の議会だよりはここからご覧になれます。



定例会

令和8年第3回定例会は5月29日から6月5日までの会期で行われました。議案は条例の一部改正6件、専決処分の承認2件、令和8年度補正予算2件、人事案件11件、報告5件など28件が上程されすべて原案通り可決・同意・承認されました。補正予算は予算決算委員会に付託され審査を行いました。一般質問には6人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

令和8年度一般会計補正予算は 1475万円が追加され 総額66億1233万円 賛成多数で可決

一般会計の主な補正予算

里庄町未来へつなぐ
地域活性化補助金
20万円

20万円

ストックヤード測量
設計委託料
200万円

200万円

複数の分館が連携する事業や若者が中心となって地域活動を活性化させる取り組みに対し、新たに補助金を交付するものです。

西平井分館にある安永池の埋立地にストックヤードを整備するための設計委託料です。

自治総合センター
コミュニティ助成事業補助金
220万円

220万円

防火水槽設計管理
委託料
100万円

100万円

自治総合センターコミュニティ助成事業を活用し、金山分館が椅子・机などの備品を整備するための費用を助成するものです。

西平井分館にある安永池の埋立地に防火水槽を整備するための設計委託料です。

駅前整備土地購入費
及び建物除却補償費
614万円

614万円

今後の駅前整備への先行取得として駅前整備土地購入と建物除却補償をするものです。

6月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	66億1233万円	(1475万円)
介護保険特別会計	13億4514万円	(186万円)

人事

農業委員会委員の任命

岡村咲津紀氏
高田 光國氏
仁科 義弘氏
磯田 博之氏
平野 耕平氏
吉田 龍平氏
中務 智紀氏
高田 卓司氏
平野 俊一氏

監査委員の選任

平野 次朗氏

固定資産評価審査委員会
委員の選任

佐藤 寿一氏

質 疑

なぜ、今のタイミングか

仁科千議員 里庄町未来へつなぐ地域活性化補助金が20万円計上されているが、当初予算の3月に提案されずになぜ、今のタイミングで提案されたのか。

町長 就任間もない3月補正では時間もなかった。しかし、3月に行われた会議で、若い世代が主体となる地域活動を後押しする仕組みが必要なのではないかという意見があった。

以前、議員からの一般質問においても同様の趣旨の提案もあり、地域活動の活性化に向けた取り組みは早期に着手すべきと判断し、今回の補正予算として提案した。



仁科千議員 いつ頃からコミュニティ事業を立ち上げようと思ったのか。

町長 3月末に意見があり、4月に制度設計に入り、内容を理解・整理し、今回の補正予算の提案となった。

駅前土地なぜ必要か

佐藤議員 公有財産購入費用と補償費を計上しているが、この駅前の土地がなぜ必要か。

購入後どういった青写真を描いているのか。

町長 評価額は今の時勢に応じてアップしているが、先行投資、先行取得ということで、将来の駅前整備、道路事業など里庄町の発展のために有効活用できると考えている。

佐藤議員 持ち主とのタイミングなどあると言ったが、世代が替わろうが、町が購入する理由にならないと思うがどうか。

町長 駅前という立地上、公共利用上の重要性が高く、将来的に必要ななった際に条件で取得できる保証はないので、先行取得という形で購入したい。

将来町の発展のために、必要である。

町 条 例

制 定

里庄町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

専 決

里庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

乳児等通園支援事業者に対し児童対象性暴力等を防止し、及び児童対象性暴力等が行われた場合に利用乳幼児を適切に保護するため、児童等対象業務従事者に係る犯罪事実の確認、その他必要な措置を講じなければならぬ旨を追加します。

里庄町障害者医療費給付条例の一部を改正する条例

障害者医療費においては7月から受給資格者の判定に前年所得の額を必要とすることから、令和7年税制改正による所得額の算定方法の変更について、令和8年7月1日から適用する必要があるため、経過措置を追加します。

- ①国の子ども・子育て支援金制度の創設に伴い、国民健康保険税条例に関連規定が追加されました。
- ②国民健康保険税の医療分の賦課限度額が66万円から67万円に引き上げられました。
- ③均等割・平等割の軽減措置について所得判定基準が緩和され、5割軽減の加算額が被保険者1人当たり30万5000円から31万円に、2割軽減の加算額が56万円から57万円に引き上げられました。

条 例

繰越明許費

財産取得について

なぜ繰越か

仁科英議員 農林水産事業緊急自然災害防止対策事業費6500万円の内の4841万円の繰越しの差は何か。

また、どの事業で、なぜ繰越しになっているのか。

農林建設課長 井溝川の整備事業が、1341万円。狭田中池の整備事業が3500万円。

井溝川の整備については、出水期が終了後に工事を行う必要があり、その一部が間に合わなかったので繰越しをした。井溝川で差額が出ている。狭田中池は、8月31日が工期完了予定で現在工事を進めている。

双方契約になっているのでは

仁科英議員 契約の方法は、岡山県GIGAスクール構想推進協議会がプロポーザル方式で未来を共創するGIGASクール整備共同体を優先交渉者として選定しているの

で、里庄町も随意契約で同共同体と契約する。

協議会の構成は、県と市町村以外にどういうところが入っているのか。

受注者側の共同体の参加企業はどこか。

教委事務局長 県内全市町村及び岡山県。評価の段階においては専門家も交えて行っている。

受注者側共同体は、ライズズオカヤマ社が代表で同社を含めて2社で構成している。

仁科英議員 双方契約になっているのではないかなと思います。推進協議会にどういう人が入っているのか、受注者側の関係者が入っていることはないのか。

教委事務局長 県がプロ

ポーザルを実施し、県のホームページで結果も公表している。契約の相手方、優先事業者として共

同体の名前は公表されているが、構成事業者については公表されていない

ので、公表を差し控えるべきものと考えている。企画の提案で、書類・

資格要件を審査しているので、参加資格を有しているものとして今回決定したものとして認識している。

仁科英議員 プロポーザル選定とは、業者を決める事だけか。

機種や単価も全部プロポーザしてもらい決定となる内容か。

教委事務局長 募集をかけ協議会が実施する。機種の金額や性能、納入の流れをプレゼンした上で評価し、金額はそこで決まる。最終見積もりは一台当たり6万3052円となる。県で示されている金額は5万5000円であり、各市町で判断する。

仁科英議員 今回購入するのはどういうものか。

教委事務局長 グーグルクロームのレノボ機が端末となる。一台当たり1・5キログラム以内であり、大きさや基本スペックは一緒にフィルタリングソフト、タッチペンや学習支援ソフトの関係をプラスする。

仁科英議員 今までどんなトラブルが多かったのか。それは解決されるのか。

教委事務局長 落として破損や水没、液晶画面の破損が多かったので、保守・保証を付けて対応する。メーカーの努力により壊れにくくなっているが、子どもたちに対して丁寧に扱うことを一層呼びかけていく。



更新されるタブレット端末

ここが反対！ なぜ今購入するのか

佐藤耕三議員

なぜ、今この土地を購入する必要があるのか町民に説明ができない。
以前、議会として認めなかったものを高い金額で購入することに疑問を感じる。
今の世界情勢で、今後の展望が見えない中での土地購入及び補償について反対である。

予算決算委員会報告

6月3日に関係当局の出席を求め説明を聴取しながら、慎重に審査しました。

令和8年度里庄町一般会計補正予算については、健康福祉センター耐震補強工事で何年もつかという質問に対し、何年とは言えないが施設を長く使えるようにし、建て替えの時期を延ばしていくという説明がありました。

安永池跡地への防火水槽の整備については、水槽の容量をできるだけ大きく確保してほしいという意見と、工事費の関係上、安易に大きくせず慎重に設計してほしいという意見がありました。

本委員会における採決の結果は、令和8年度里庄町一般会計補正予算は賛成多数、令和8年度里庄町介護保険特別会計補正予算は全会一致で原案を可決すべきものと決しました。

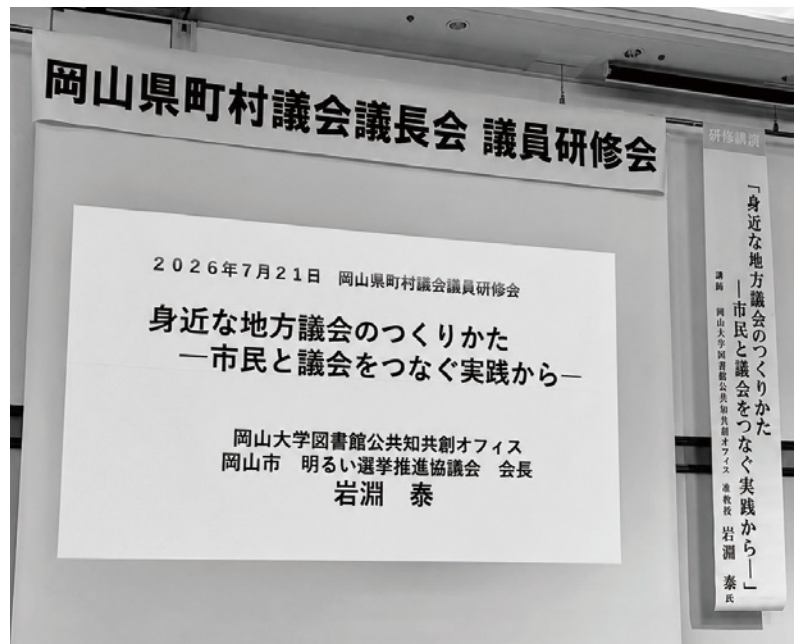
研修



7月21日、津山市へ議員全員で研修に行ってきました。

岡山県町村議会議員研修会が津山市内で開催されました。岡山大学図書館公共知共創オフィス准教授 岩淵 泰氏による「身近な地方議会のつくりかたー市民と議会をつなぐ実践からー」の講演を県内12町村の議員が一堂に会し、講師の話を熱心に聴講しました。

身近な地方議会の重要性や地域住民とのつながり方、また学生の考えを取り入れた活動など、学びの多い研修となりました。



掲載団体大募集!!

議会だよりの裏表紙へ、
活動内容を掲載したい団体を募集します！

※町内で活動をしている各種団体に限ります。

※掲載したいとお考えの団体は議会事務局までご連絡をお願いいたします。

※掲載は今年度の議会だより9月・12月・3月発行のものととなります。



賛否表

賛否表

○…賛成 ×…反対

議案名		議員名									議決結果
		岡村咲津紀	眞野博文	仁科英磨	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	田辺博樹	難波啓祐	岡本貴之	
定例会 6月	議案第29号	専決処分の承認を求めることについて									承認
	議案第30号	専決処分の承認を求めることについて									承認
	議案第31号	里庄町税条例の一部改正について									可決
	議案第32号	地方活力向上地域等特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正について									可決
	議案第33号	里庄町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について									可決
	議案第34号	里庄町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について									可決
	議案第35号	里庄町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について									可決
	議案第36号	里庄町障害者医療費給付条例の一部改正について									可決
	議案第37号	令和8年度里庄町一般会計補正予算（第1号）									可決
	議案第38号	令和8年度里庄町介護保険特別会計補正予算（第1号）									可決
	議案第39号	里庄町農業委員会委員の任命について									同意
	議案第40号	里庄町農業委員会委員の任命について									同意
	議案第41号	里庄町農業委員会委員の任命について									同意
	議案第42号	里庄町農業委員会委員の任命について									同意
	議案第43号	里庄町農業委員会委員の任命について									同意
	議案第44号	里庄町農業委員会委員の任命について									同意
	議案第45号	里庄町農業委員会委員の任命について									同意
	議案第46号	里庄町農業委員会委員の任命について									同意
	議案第47号	里庄町農業委員会委員の任命について									同意
	議案第48号	監査委員の選任について									同意
	議案第49号	固定資産評価審査委員会委員の選任について									同意
	議案第50号	工事請負契約の締結について									可決
	議案第51号	財産の取得について									可決
	報告第1号	令和7年度里庄町一般会計繰越明許費繰越計算書について									報告のみ
	報告第2号	令和7年度里庄町介護老人保健施設特別会計繰越明許費繰越計算書について									
	報告第3号	令和7年度里庄町水道事業会計予算繰越計算書について									
	報告第4号	令和7年度里庄町公共下水道事業会計予算繰越計算書について									
	報告第5号	里庄町土地開発公社の経営状況の報告について									

注）議長は採決に加わりません。（賛否が同数の場合を除く。）



玉島笠岡道路建設中（金山地区）

6人の議員が登壇して質問!

岡本 貴之 議員……………8P

- ① 中学校体育館改修中の部活動は
- ② 町営墓地にペット霊園は

佐藤 耕三 議員……………9P

- ① 駅及び駅周辺の整備
- ② 自転車交通反則通告制度(青切符制度)に伴う交通ルールの周知を

難波 啓祐 議員……………10P

- ① 住みたいまちづくりは
- ② 出欠確認アプリを

仁科 英麿 議員……………11P

- ① 建物の構造種別等についても、委託する基本設計業務の中で吟味しては
- ② 殿迫地区新設十字路の南東側への大型店の出店は
- ③ 農業用水路(溝)、ため池及び小河川の管理は

仁科 千鶴子 議員……………12P

- ① 浜中バイパスの渋滞の解決策は
- ② 部活動の地域移行は

田辺 博樹 議員……………13P

- ① 計画中の複合施設の設備機能を問う
- ② 駅のバリアフリー化工事は町独自の概算もすべきでは
- ③ 町を変革するため、まずモデル地区を設定し公園化するのはどうか

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

6月定例会

一般質問

町政を問う

中学校の体育館改修中の部活動は

教委事務局長／活動機会が大きく損なわれない
ように対応していきたい



岡本 貴之 議員

中学校の体育館が改修工事に入ることとなった。有事の際の避難場所でもあり、日頃から中学生が利用する体育館が改修され、子どもたちが安心して部活などができるようになることは大変ありがたいこと。

も、今後もさらに長期間にわたり安心して使用することができ施設とするため、長寿命化改修工事を実施する。

現在、体育館を使用する部活動については、町内の東西小学校の体育館や福祉会館、武道館など施設の活用を基本としながら、可能な限り活動機会を確保できるよう、学校と連絡調整を進めている。

その一方で、改修工事中に体育館を使用する部活動はどうなるのかとの声もたくさん聞く。

問

体育館改修工事中に体育館を使用する部活動はどのようなのか。

教委事務局長

中学校の体育館については、老朽化への対応及び生徒の安全確保の観点に加え、有事の際の避難所として指定されていることから

また、町外の関係機関とも協議を行っており、競技特性や安全面にも十分配慮し、練習内容や活動時間の工夫も含めて、生徒の活動機会が大きく損なわれることのないように対応していきたいと考えている。



問

教委事務局長

小学校のバスケットゴールの高さは調整できないのか。小学校体育館のバスケットゴールは施設ごとに仕様が異なるが、ハンドル操作によつてゴールが前面へ出たり、高さの調整が可能となっている。

町営墓地の一角にペット霊園は

町民課長／まずは要件を緩和拡大し
空き区画の解消を図ることが重要

問

町営墓地の一角にペット霊園は造れないのか。

町民課長

空き区画を有効活用する方法として画期的なアイデアであると思うが、現在の要件を緩和拡大することによつて、より多くの人にとって、使用してもらい、空き区画の解消を図ることが重要であると考えている。

問

同一敷地内ではなく、霊園のすぐ隣の土地にペットの合祀墓は造れないのか。

町民課長

現状の要件を緩和し、まずはそちらを優先して行いたい。それでも、将来的にどうしても空きが埋まってこないのであれば、ペット霊園の案についても、いろいろな方面・角度から検討していくとともに、ほかの自治体の事例なども参考にしながら研究をしていきたい。

町長

まずは緩和して何年か様子を見てみる。それでもまだ埋まらないとなれば、もう少し要件を緩和する中で、近隣の自治体の例も参考にしながら注視し研究していきたい。

佐藤 耕三 議員



土地購入の根拠は

町長／今後の事業の先行取得

問

駅のバリアフリー化、南北の通り抜けには大きな費用が必要だが、町単独で行うのか。ＪＲ・国・県からの負担は。

まち整備課長

現在事業規模や内容を精査中。補助メニューや負担割合など確定していない。今後、国の補助制度や交付条件を確認しながら具体化していく考え。

問

ＪＲから費用の協力がなければ、バリアフリー化の条件に駅前整備は含まれるのか。

まち整備課長

今その計画は頓挫している。

問

今の情勢の中で、駅前の空き家の土地が必要なのかといった声がある。駅前の土地購入が必要という経済的、社会的な根拠は。

まち整備課長

町の玄関口として公共性が極めて高い。将来駅前におけるまちづくりを柔軟に展

開するためには早期の段階の取得が必要と考える。将来を見据えた判断。

町長

駅前土地は、公共利用上の重要性は高く、取得可能な時期に対応する必要があると判断した。

問

この空き家の看板には町が解体、買収するといった約束が履行されていないとある。その約束はいつしたのか。

まち整備課長

平成27年の駅前広場等整備基本構想の検討過程において地権者と意見交換した。看板は、当時正式な交渉には至っていなかったが、地権者がそのように判断したと推測している。今年5月29日仮契約が完了し、現在も引き続き必要事項を協議している。

制度改正の周知を

企画商工課長／ホームページ・広報紙で掲載

問

自転車交通反則通告制度の改正を町として、町民への周知・徹底が必要と考えるが。

企画商工課長

安全維持には、周知・啓発により町民への交通安全に対する意識の醸成が重要。引き続き周知していく必要があると考える。

問

制度改正で自転車やバイクにも影響があるが、一般の人はどう認識していると思うか。

企画商工課長

民間保険会社での意識調査では、改正の認知度は約7割だが、内容の理解度には2割台にとどまっている。

問

今回の改正をホームページなどで知らせている自治体もあるが、里庄町ではどうなのか。

企画商工課長

令和8年2月回覧で周知し、広報では3月号に掲載した。早急な周知が必要と考えホームページにも掲載した。

問

町として今後の交通安全学習は、分館などから要望があれば、関係機関と連携し、出前講座など開催したいと考えている。

問

自転車促進の道路改善の考えは。自転車通行帯などの設置規制がかかる箇所は、引き続き警察と協議する。

農林建設課長

障害物など情報提供してもらいながら速やかに障害物の除去など進めたい。

問

子どもや高齢者など全ての人と共存できる持続可能な交通政策について、町の考えは。

町長

狭あい事業補助金など活用しながら整備を進めていきたい。交通安全教育も含め総合的に行うのが交通政策だと思っている。

住みたいまちづくりについて

町長／環境づくりを進めていく



難波 啓祐 議員

問

前回3月の定例会において、町

長は「人口減をゆるやかにすることを基本に若い世代の転出を抑え、転入やUターンを増やすことを同時に進めていく」と答弁されたが、もう少し具体的に説明が欲しい。若い世代の転出を抑えるとは具体的に何をやるのか。

町長

本年度実施予定の里庄町未来へつなぐ地域活性化補助金制度により、若者が主体となつて行う地域活動や地域課題の解決に向けた取り組みを支援する。若者が地域で成功体験を積み重ねることで、地域への愛着や誇り、いわゆるシビックプライドの

醸成につなげていく。

また、妊婦の人や3歳以下の子どもを持つ保護者を対象とした子育て世帯応援タクシー料金助成事業の継続。道路、下水道など生活基盤となるインフラ整備なども進めていく。

問

転入、Uターンを増やしていくためにはどのようなことを考えているのか。

町長

口に出して一つ一つこの場では答えられない。抽象論としては、空き家対策事業の充実、また、里庄町の魅力発信サポーターによるSNSを活用した魅力発信など、里庄町で働きた

問

限られた財源の中で工夫して、

とはどう工夫するのか。

町長

事業の優先順位を明確にし、効果を検証しながら必要な施策へ重点的に財源を配分していくことが重要であると考えている。効果の低い事業や重複する事業については、整理、見直しを進め、コストの削減に努める。

出欠確認アプリについて

教育委事務局長／研究していく

問

現在、学校で保護者との連絡網で使っているアプリはどのようなものなのか。

教委事務局長

令和6年9月から保護者連絡アプリを導入している。このシステムは、学校や幼稚園から保護者に対して一斉連絡配信、また保護者から学校、幼稚園へ欠席、遅刻の連絡。また双方でアンケート配信や回答などを行っている。従来の電話連絡、紙媒体での配布物の削減につながっている。

問

現在一部の学校で、ICチップ

を身に着けて、校門を通過した時点で保護者のスマホに連絡が入る、というアプリがあるらしい。これは登下校において何時何分に登校した、下校したということが瞬時にわかるので保護者も安心できると思うが、このようなアプリをプラットフォームで導入してみてもいい。

教委事務局長

ICタグ、ICチップを活用したアプリ、システムについては安心の向上に有効な手段の一つであると認識している。

しかし、現在使用しているアプリは令和6年度に導入したばかりでまだ日が浅いこともあり、保護者における運用変更への対応など整理すべき課題もある。

ほかの自治体の導入事例なども参考にして、子どもたちの安全の確保、保護者の安心感の向上、教職員の負担軽減などの面からも研究していきたい。

仁科 英磨議員



新複合庁舎は、もっと北に寄せては

町長／それだけの無駄遣いをしていいか

問

役場複合庁舎の建設事業について

では、建物の位置、構造（鉄筋コンクリートか、木造かなど）、将来の拡張性なども、十分吟味されているとは思えない。

まず、建設の位置について、書庫棟を除去し、北側に寄せて建設するには、仮設棟の建設などで約1億4千万円の追加費用がかかる、前面の空き地は150㎡しか広がらないとの説明があつたが、仮設は建てず、既存施設の活用や民間の建物を借用すれば、7千万円程度で可能になり、位置も、つめれば250～300㎡ぐらひは北に寄せられるのではないかと。

総務課長

既存施設使用は、空きスペースの状況から、民間施設借用は、移動の時間や安全対策の観点から、困難。

書庫棟は、まだ20年以上使用できる状況で、今解体し改めて建設するとは、合理的でない。

問

近い民間施設も、幾つかある。

会議室にも余裕があり、文書スペースもある程度は捻出できるので、仮設は造らず、2～3年辛抱する方向が取れる。

今年度の測量とボーリング調査は、北側も行い、それも含めて検討しては。

副町長

調査などは北側も含めて実施するが、工期の短縮や追加費用を抑えるためにも、既存の書庫棟を使用する方が合理的と考えている。

問

考え方が狭過ぎる。

50年、100年使つていかなければならない。比較衡量して、よくつめるべきでは。

町長

今財政的に、1億、2億の金は、里庄町にとつては大きい。将来のことも考えなければならぬが、目先にそれだけの無駄遣い、投資をしていいかどうか。

問

国や県の財源措置を徹底的に研究してほしい。

7千万円で建物の面積は広がり、45%は交付税で補填されるから、実質の持ち出しは4千万円。

それだけ出して北に寄せるかどうか、建物の構造種別、将来の増築のこ

副町長

とと合わせて、基本設計の段階で検討しては。

構造種別については、最終的な方針を決める。

将来の増築のことは、建築基準は将来変わる可能性があるので、今回の業務には盛り込まない。

問

町長が指名競争入札でと強く考

えている理由は何か。

何社指名する積りか。

副町長

これまで積み上げてきた基本計画の内容を確実に具現化することが重要で、同種業務の経験や実績があり、計画の意図を適切に反映

できる業者を選定するとともに、価格競争によりコストを抑えるためだ。

登録業者99社の中から、6～10社指名する。

問

基本計画では、そこまで掘り下げた吟味はされていない。登録業者一覧表を見ると、どうも大手が入っていないなど、いろいろだ。

町長

そういう業者にどう入ってもらうか、国や他の団体の状況も集めて検証すれば、公募型プロポーザルが一番いいということになると思うが、どうか。

副町長

プロポーザルは、いい方式だが、数年かけてこまできた。他にも大きな事業などが控えている。

問

プロポーザルによる事業の長期化は、事業費の増加リスクにもつながる。詳細設計と建設を一緒にしてゼネコンに頼めば、時間は

節約できる。ここは時間をかけるべきだ。

また、町の体制を整えるべきでは。

総務課長

委託によりスポット的に専門的な意見を聞くなどの方法を検討したい。

その他の主な質問

Q 殿迫への大型店進出のうわさは、事実か。

A 面積は。

A 農用地除外は、終了。

除外面積は、21千㎡。

Q その他の法的手続きは。

A まだだ。

Q 直売コーナー、歩道設置、地元雇用の要望を。

A 要望があつたことは伝える。

Q 溝、溜池などの管理は、

基本的には町が行うものと、考えを改めては。

A 町で全てはできない。

関係者との十分な協議、県への要望は行う。

右折レーンの延長は

農林建設課長／要望を出している

問 浜中バイパスが開通して3年。今立川沿いの道路封鎖、8月に大型スーパー開店と更なる渋滞に町民は不安を感じている。渋滞についての相談、苦情はないか。状況は。

農林建設課長 渋滞に関する苦情は多い。

天候や曜日によって違いはあるが、午前8時がピークであり、ピーク時間が遅くはなっている。車の数が非常に増えているが、スムーズに流れる曜日もある。

問 福山通運前から国道2号線に入る県道47号線の右折レーンの延長はできないのか。解決策は出ているのか。

農林建設課長 岡山県に対して情報提供し状況を説明している。対策についても要望を出しているが、具体的な解決策の報告は受けてない。

問 玉島笠岡道路が開通する事を踏まえての考えか。

農林建設課長 玉島笠岡道路の開通を見越しての考え方と思う。

問 国道2号線沿い浜中北の点滅信号を東の仁科鮮魚店前に移設できないのか。

農林建設課長 移設については、浜中北分館と浜中南分館の異なる意見で、両分館の総意がないと進められない。

部活動の地域移行は

教委事務局長／広域的対応を視野に



仁科千鶴子 議員

問 部活動は運動部・文化部の数と日数など、どのような活動をしているのか。

教委事務局長 運動部が9部、文化部が2部。平日週3日、1日2時間。土日いずれかを1日選択して、活動時間を3時間と設定している。

問 地域移行でどのように変わっていくのか。

教委事務局長 学校単位で行われてきた部活動を地域全体で関係者が連携して支える。学校部活動の場から地域クラブ活動の場へ展開する。

問 里庄に地域クラブ・団体は何があるのか。

教委事務局長 柔道は、柔道スポーツ教室に、受入れを協力してもらっている。

今後、スポーツ協会、スポーツ団体、文化芸術団体に活動への協力をお願いしながら、受皿の確保に向けた体制整備や連携を図っていく。

単独するには課題が多いので、広域的な対応も視野に入れ検討していく。

問 広域的な対応は進んでいるのか。

教委事務局長 できていない。

教育長 近隣の市町と定期的に情報共有の会議を何年もしている。今後も他の市町と連携を深めて取り組んでいきたい。

問 クラブチームになると送迎とか負担がある。月謝、参加費など負担となる。

個人負担の補助はあるのか。

教委事務局長 補助は難しい。しかし、経済的理由によって活動機会が失われることが無いよう、慎重に検討していく。

問 活動場所の確保をどうするのか。

教委事務局長 地域の人材を発掘、教職員が兼職兼業として許可を得て指導をするといった選択肢の一つとして検討していく。

町の施設資源だけでは十分な対応が困難であるので、広域的な連携を視野に入れながら活動場所の確保に努めていきたい。



複合施設の中にふれ合いの場を

町長／将来ニーズがあれば考える

問

複合施設の中にふれ合いの場として、軽食の提供が可能な設備をエントランスからロビーあたりに整えてもらいたい。

総務課長

町民交流スペースは町民の交流や活動の場としての機能を重視、飲食提供を主目的とした施設の整備は現時点では想定していない。自動販売機の設置や持込み飲食が可能な休憩スペースは検討している。

問

自動販売機ではちょっと味気ない。簡単な水回りの工事でもあらかじめしておかないと大きな出費になる。簡単なものでいいので設けてみては。

町長

本当に有意義なことと思う。将来そういったニーズがあれば考えていきたい。

町独自の概算を

まち整備課長／実際の事業費と大きく乖離

問

駅のバリアフリー化工事は町独自の概算もするべきと考える。エレベーターの設置、南北双方からの乗降のための駅の橋上化が必須と考えるが、町で同等の工事を一般の建設工事費として出してみてもどうか。

まち整備課長

駅施設の工事は一般の建築工事とは異なり、鉄道施設特有の安全基準や施工条件を踏まえる必要がある。このため一般建築単価を用いて町が独自に概算を行った場合、実際の事業費と大きく乖離する可能性がある。したがって駅関連事業費については、鉄道事業者と専門事業者の協議調査に基づき算定することが基本であると考えている。

問

JRの工事は安全を盾に非常に高価なものになると言われている。

事故に対する責任は損保会社との契約により、一般の建築業者でもできるような仕組みにしたいのが理想ではないかと考える。損害保険の支払金額は、その差額よりはるかに小さいものになると考えられる。

まち整備課長

50億という大規模な事業でもあり、今後検討委員会を設立し、その中で種々検討する。その段階においてJRとの協議も進めていくことになると思う。

町をアルカディアに

農林建設課参事／その計画はない

問

耕作放棄地の雑草は運動公園を中心に芝生に変えれば、一帯は実に美しい公園となり、企業誘致にも新規居住者の勧誘にも大きなモチベーションになると考える。それほど大きな経費はかからない。

テストケースとしてやってみる価値は十分あると考えるがどうか。

農林建設課参事

農地は個人の所であり、町が一体的に管理や整備を行うためには所有者の理解や協力が欠かせない。維持管理体制の確保など多くの課題が存在する。現時点において町として具体的な構想、計画はない。

問

何か始めなければ、何も変わらない。当初のコストはそうからない事業と思う。公園みたいと言われると町民もうれしいと思う。里庄の町をアルカディア、理想郷にしたい。運動公園を核に前向きに取り組んでもらいたい。

町長

町の未来に対する構想、夢の話は非常にいい話である。2つの大きなプロジェクトに気持ちを集中していきたいと思っている。

シリーズ こんな活動 しています!

第23回

里庄町文化協会 舞踊部

舞踊部は、文化協会創立当初から、踊り好きが集まり、練習していた伝統のある部です。現在の会員は9人ですが、みんなががんばっています。練習の前には、まず正座をして「扇子」を前に置き、講師とみんなに「よろしくお願いします」と、みんなであいさつをし、それから舞踊のおけいこを始めます。踊りが終わった後も同じく「扇子」をおいて「ありがとうございました」とあいさつをして終わります。

毎月1回(第4水曜日)老人センター大広間で午前9時30分から、行っています。

踊りの苦手な人でも、みんなと一緒に手、足を動かせば、自然に体も動く様になりますよ。

舞踊は古来、昔からそれぞれの地方に伝じて、盆踊りや祭りなどで受けつがれてきたものです。今また、それが各地方で多くみられます。

歌謡曲や民謡と唄もいろいろですが、笠、扇子うちわなど小道具を持つたり、手踊りもありと曲によっていろいろです。それが楽しいです。持つ物により気持も変わります。民謡はうちわを持つことが多いです。扇子は持ち方もいろいろですが何回も何回もして覚えやすいので、気力と根気がいります。

発表会には、きれいな着物を着て、お化粧をして時には自分にとりしながら、みんなそれに向けて一生懸命、頭を使い脳トレで頑張っています。



シリーズ
「里庄町文化協会」は
今回で最終回となります。
これまでご協力をいただき
誠にありがとうございました。



《第125号》
令和8年7月31日 発行

発行/岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集/議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとかき

健体康心<健康>

健やかなる体と康らかなる心で、今年の夏の暑さを一緒に乗り越えましょう。頑張り過ぎず、そして一息つく時には、涼しい場所で議会だよりを手に取り、読んでいただけると嬉しいです。

(仁科千)



編集委員 委員長:岡本貴之 副委員長:仁科千鶴子
委員:田辺博樹 委員:難波啓祐

令和8年9月定例会は、9月3日(木)から始まる予定です。